

生活者ネット だから出来る 議会改革

硬直化した政党政治から 市民参加の都議会へ

常に議会改革を掲げて活動してきた生活者ネットワークにとって、改革を掲げる小池知事の登場は、古い体質の都議会を変えるチャンスです。しかし、議会と首長は常に緊張関係にあるべきで、都議会を小池与党に塗り替えれば良いというものではありません。山内れい子は都民に直結する議員として、情報公開と市民参加を更にすすめます。

政務活動費は1円からの公開実現！

都議会では議会改革への意識が薄く、国政並みにガチガチな政党中心の議会運営が行われ、議員自らの痛みを伴う議会改革への取り組みは遅々として進まない状況でした。特に「第2の報酬」ともいわれる政務活動費の公開に関して、生活者ネットの働きかけで2007年末に「都議会のあり方検討会」が設置され、「新たな使途基

準」に各党が合意。09年4月ようやく1円からの領収書添付の義務づけと公開が実現しました。

昨今、全国の地方議会でも政務活動費の不正使用が大きな問題となっています。都議会も、使途基準の合意から8年がたつ今、さらに厳しく見直すことを求めています。

議員年金の廃止実現！

同様に議員特権の象徴ともいえる「議員年金制度」に終始反対してきましたが、ついに、2011年廃止となりました。

費用弁償も廃止実現！

議会に出席するたびに支給される費用弁償の全額廃止がようやく今議会で決まりました。今後は議会が派遣する豪華海外視察の取りやめや、公用車の廃止などの議論が必要です。

山内れい子

都議会議員 ひまわりレポート No.41/2017.4.1